

2022年8月9日

各 位

会 社 名 ピジョン株式会社  
 代表者名 代表取締役社長  
 北 澤 憲 政  
 (コード 7956 東証プライム)  
 問合せ先 執行役員経営戦略本部長  
 田 窪 伸 郎 (03-3661-4204)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向等を踏まえ、2022年2月15日付にて公表した2022年12月期業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年12月期通期連結業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	98,700	14,200	14,300	9,500	79円41銭
今 回 修 正 予 想 (B)	95,000	12,000	13,000	8,550	71円46銭
増 減 額 (B-A)	▲ 3,700	▲ 2,200	▲ 1,300	▲ 950	—
増 減 率 %	▲ 3.7	▲ 15.5	▲ 9.1	▲ 10.0	—
【参考】前期実績 (2021年12月期)	93,080	13,336	14,648	8,785	73円44銭

※前回発表予想 (A) の値は、期初に発表した当期期初計画値と同一となっております。

#### 2. 修正の理由

当社グループの2022年12月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、連結売上高は452億92百万円（前年同期比4.2%減）、連結営業利益は51億18百万円（同32.6%減）となりました。当期はシンガポール事業やランシノ事業の売上高が好調に推移し、円安による影響など増収増益要因もある一方で、中国本土では新型コロナウイルス感染症の再拡大によって4月1日から2ヵ月間にわたる上海ロックダウン（都市封鎖）が行われました。これに伴い、上海市内に有する当社工場の稼働停止や当社販売会社の一時的な閉鎖を余儀なくされるなど、事業活動に大きな影響を受けました。加えて、日本市場の回復が想定を下回る進捗である事や、国際情勢の混乱等に起因する物流混乱や輸送費の高騰、原材料価格の上昇等の業績下押しリスクも継続していることから、

上記の通り通期業績予想を下方修正しております。なお、当期の下期単独期間の連結業績については、前年同期を上回る想定となっており、一層の業績改善に向けて取り組みを強化してまいります。

なお、今回の業績予想修正の前提となる想定平均為替レートにつきましては、1米ドルは132.00円程度（当期第2四半期累計実績123.15円、期初計画112.00円）、中国元は19.50円程度（同18.97円、17.50円）を見込んでおります。

※ 上記の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、今後の様々な要因により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上